

# HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌  
2007 vol.15

## ハンドベルの音色が響きわたりました

### ～やすらぎのコンサート開催～



演奏を聴きに来られていた患者さまにとっても同じだったように、「夏の思い出」や「川の流れるように」「千の風になつて」などの演奏では、自然と歌声が聞こえてくるほどでした。予定曲の演奏後も、アンコール曲で「ふる

平成19年7月30日、ロビー  
いっぱいにハンドベルの優しい音色が響きわたり、やすらぎのコンサートが始まりました。  
この日は患者さまにとっても職員にとっても、まさに「やすらぎ」の午後のひとときになり、演奏を聴きにこられた方の数がいつもより多く感じられました。  
ハンドベルと聞いて思い浮かべたのが、小さなベルを両手に一つずつ持つて演奏する情景でしたが、実際のベルを見てびっくり、演奏されている姿を見て再びびっくりしました。  
ベルは、小さい物もありましたが、彼女達が一人で持つて鳴らせるの？と疑問に思うぐらいの大きなベルまでありました。  
そして演奏に入ると、片手に二つのベルを持つて演奏したり、大きなベルをテーブルに置いたまま、微妙な音を出したりと驚きの連続でした。優しい音色と彼女達のパフォーマンスに釘付けになりました。これが本格的なハンドベルの演奏なんだあ、と思った時には、彼女達が奏でる音に引き込まれていました。



### ご紹介します

#### 聖霊女子短期大学付属高等学校 ハンドベル部（秋田市）

世界平和を願う演奏活動として、海外公演、県外での平和祈念演奏のほか、秋田市では平和祈念演奏会を開催されています。

今までにCDは5種出版し、現在、部員数14名で活動中です。

2006年5月7日には韓日世界祈念青少年音楽祭（韓国ソウル・明洞大聖堂コステホール）に出演されました。



の多忙なスケジュールの中、聖霊女子短期大学付属高等学校のハンドベル部の皆さんに貴重なすばらしい演奏していただきました。本当にありがとうございます。



さと」の演奏をしてくださり、皆さん大喜びでした。  
また、演奏後も生徒さんに色々と質問をされたり、実際にハンドベルを手に取って、にこやかに談笑されている患者さまの姿が目には焼きついて離れません。生徒の皆さんも笑顔で対応してくださり、彼女達の音の処方箋が心を癒す特効薬になったのではないのでしょうか。

このたびは、神戸での演奏旅行中



山下脳神経外科部長

# 『神戸赤十字病院 脳神経外科医の日常 Friday Night編』

脳神経外科 山下 晴央

## 脳 神 経 外 科

街はにぎわっているとある金曜23時、救急車からの電話「神戸赤、脳外科ですか？患者の受け入れお願いします」。当直の脳外科専攻医Yが答える。「はい。神戸赤十字病院では、365日、24時間、脳外科患者をいつでも受け入れます。ご容体は？」「かくかくしかじかで非常に重症です」。Y医師は「気をつけて搬送して下さい、お待ちしています」と伝えて電話を切り、帰宅していた脳神経外科専門医Oに連絡する。「O先生、重症患者がもうすぐ運ばれてきます。」「15分以内に行くから。」「13分後O医師が病院に到着する。搬送されてきた患者は予想以上に重症だったが、Y医師とO医師で初期の担当がなされる。患者を見守りながらO医師が「Y君、重症やから、隣の災害医療センターで治療しよか\*1」と言う。

患者は隣の救命救急センター、兵庫県災害医療センターにすぐに運ばれ、救急部の医師たちの協力も得て必要な検査が瞬時に行われる。その結果、くも膜下出血であることが判明する。Y医師が「O先生、この患者のためには開頭手術とカテーテル手術\*2のどちらがより適切でしょうか？」と緊張した面持ちでO医師に尋ねると、「Y君、治療法の選択は患者の命に関わるから、慎重に決めなあかん。今回は難しいな。山下部長と、カテーテル手術専門医\*3の資格のあるH先生を呼んで、よく相談して決めよう」。Y医師は心配そうに時計を見る。24時を超えている。「こんな夜遅いのに、大丈夫でしょうか？」と聞くが、O医師は「そんなこと心配いらん。24時間、患者の脳を守るのが僕たち脳神経外科医の仕事やろ？山下部長もH先生も喜んで来るはずや。」と自信を持って答える。

20分後、患者さまのそばで治療法を考える脳神経外科チーム全員の姿。30分後、カテーテル手術を開始……。

1ヶ月後、神戸赤十字病院脳神経外科山下部長の外来\*4に退院された患者さまが来られる。「元気になりはったね。……」

つつく……

\*1: 神戸赤十字病院、兵庫県災害医療センターの一体化運用で、患者様のご病状に応じた治療を提供します。

脳神経外科医は両病院で継続的に患者さまの治療に当たります。また脳卒中については神経内科医とも協力し、脳神経チームとして治療にあたります。

\*2: 手術、カテーテル手術(血管内治療)実績

2006年度手術数 222件

神戸赤十字病院

兵庫県災害医療センター

カテーテル手術(血管内治療)

98件

80件

44件

\*3: スタッフと専門医資格

部長: 山下 晴央(S54卒)

脳神経外科専門医、脳卒中専門医、

脳神経内視鏡専門医

副部長: 原 淑恵(H2卒)

脳神経外科専門医、脳神経血管内治療専門医、脳卒中専門医、脳神経内

視鏡専門医

副部長: 太田 耕平(H8卒)

脳神経外科専門医

医師: 松下 誠(H13卒)



後列左より) 山本医師、太田副部長、松下医師  
前列左より) 山下部長、原副部長

\*4: 外来担当表

|       |     |      |       |     |     |    |     |
|-------|-----|------|-------|-----|-----|----|-----|
| 月曜日   | 午前  | 火曜日  | 水曜日   | 午前  | 木曜日 | 午前 | 金曜日 |
| 山下 晴央 | 手術日 | 原 淑恵 | 山下 晴央 | 手術日 |     |    |     |

救急患者さまはいつでも受け入れいたします。



行って来ます!!



7月18日の午前9時より、神戸赤十字病院玄関前で、知野見優紀子看護師の海外派遣出発式が行われました。

知野見さんは、平成19年7月19日から平成20年2月4日まで、フィリピン共和国のキリノ州へ派遣されます。現地では、フィリピン赤十字社の保健チームの一員として活動し、特に農村部でのプライマリ・ヘルスケア事業を中心としたフィリピン赤十字社の保健事業の戦略作り、仕組み及び事業運営にかかわる作業を支援します。

初めての海外派遣で、大変なことも多いと思いますが、体調に気をつけてがんばって下さい!!



## 知野見看護師の海外派遣出発式

## お薬 四方山話 10

『剤形によって薬の効きかたはどう違うの?』

薬剤部 遊見 裕子

薬には、注射薬・内服薬・坐薬・貼付薬などいろんな剤形があり、投与経路によって、作用部位へ到達する過程が異なるため、効果発現までの時間が違ってきます。

静脈投与する注射薬が最も作用発現までの時間が短く、急速に血中濃度が高くなるため急いで効き目を得たい場合や吸収しにくい薬の投与方法として優れています。

次いで作用発現が早いのは坐薬や舌下錠です。これは消化管での移動時間がなく、肝臓での代謝を受けずに全身に循環するためです。

それに比べて内服薬は、胃で崩壊された後、腸管から吸収され、肝臓で初回代謝を受けて全身に分布することから、効果発現までやや時間を要します。

全身作用を目的とした皮膚への貼付薬は、効果発現までの時間は長いですが、貼っている間、徐々に薬剤が放出され長時間作用するよう設計されています。

たとえば狭心症に用いられるニトログリセリン製剤には、注射剤・舌下錠・貼付剤・スプレー剤がありますが、血中濃度の推移が剤形により異なり、それぞれの使用目的によって使い分けられます。



## 栄養課 だより

13



食欲の秋ですが、食べすぎは禁物です。肥満の方の多くは食べすぎです、腹八分と昔から言いますが腹七分程度にしましょう。

毎日の食事でメタボリックを解消しましょう。

食事で予防のポイント4つです。

① 毎食のバランスを考えて! (My手のひら一杯のはん①、おかず①、やさい①)

② 高エネルギー食品を避ける。(手軽に利用できるコンビニ、ファーストフードは、ほとんどエネルギーが高く味付けが濃いです。)

③ 脂肪、糖分は控えめに。(肉は脂肪の少ない部位を選ぶ、低脂肪乳、砂糖は控えめに。)

④ 食べ方が重要です。(1日3食きちんと食べる事が基本です。特に夕食後は食べない。)

今回ご紹介する酢豚は、外食と比べると野菜が多く肉は少なめですが味は本格的です。

### ● 酢豚 ●

エネルギー 186kcal  
タンパク質 11.7g  
脂質 5.8g

| 材料       |     |          |     |
|----------|-----|----------|-----|
| 豚肉もも     | 40  | 卵白       | 2   |
| 濃口醤油     | 2   | 清酒       | 2   |
| しょうが     | 1   | 片栗粉      | 5   |
| サラダ油     | 3   | たまねぎ     | 70  |
| たけのこ     | 30  | たけのこ     | 30  |
| にんじん     | 20  | ピーマン     | 15  |
| 干しいたけ    | 3   | 片栗粉      | 1.3 |
| 砂糖       | 3   | 濃口醤油     | 2   |
| 穀物酢      | 6   | トマトケチャップ | 7   |
| 中華風スープの素 | 0.8 | 白湯       | 10  |



#### 基本方針

1. 患者さまを中心として、人権と意思を尊重し、安心と満足が得られる医療を提供いたします。
2. 地域医療機関との連携を保ち、患者さまに一貫した医療を提供いたします。
3. 救急医療、災害救護活動、国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽し、明るく活力のある職場づくりに努めます。

#### 神戸赤十字病院「患者の権利に関する宣言」

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援してまいります。

1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見直しなどについて、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受け、納得したうえで、検査や治療方法などを自分の意思で選ぶ権利があります。
5. 自分が受けている診断や治療について、他の医師の意見を求める権利があります。（セカンドオピニオン）
6. 自分が受けている医療を知るために、診療記録の開示を求める権利があります。
7. 研究途上にある医療に関して、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、それを受けるかどうか決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。
8. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

#### 神戸赤十字病院

### HAT健康セミナー

#### 第17回

#### 冬にはやる子どもの病気について

小児科 部長 吉新 祥一

- 開催日時：平成19年11月7日(水)  
午後4時00～5時00分
- 場 所：神戸赤十字病院  
3階 第2研修室

※下記まで電話またはFAXでお申し込み下さい。

地域医療連携室(予約センター)  
TEL:241-9273 FAX:241-9265



今回のテーマは「乳癌」。女性特有の病気ということで、今回の参加者はほとんどが女性でしたが、中には熱心な男性の方もいらつしやいました。

講師は当院で最も多くの乳腺疾患の診療にあたっておられる外科・門脇医師が担当、手術療法、放射線

治療を併用した乳房温存療法、抗がん剤やホルモン療法など多様な治療について、丁寧かつ詳しくお話していただきました。乳癌は最近日本でも増加傾向にあり、女性の25人に1人が乳癌になるとのこと、誰でも発病する可能性がある病気ですが、早期発見し、適切に治療すれば治癒する確率が高く、マンモグラフィを中心とした検診を積極的に行っていくことが大切です。

#### 第16回HAT健康セミナー報告

#### 「乳がんについて」

## トピックス&ニュース

#### 甲南女子中・高等学校

#### JRCボランティア活動



8月6日に甲南女子中・高等学校の青少年赤十字メンバーの皆さん10名が、夏休みを利用して、当院でボランティア活動をして下さいました。

8名の方は、病棟の車椅子、約30台を集めて、藤田看護副部長の「この車椅子に自分のお母さん、おばあさんが乗るならと思って、心をこめてきれいにしましょう」の掛け声のもと、ブラシでドロ汚れを落とし、さびを落とし、油をさしたり、どうきんで磨いたり、黙々と一台一台丁寧に清掃作業をしていただき、大変綺麗になりました。

2名の方は、1階総合受付で案内ボランティアをしていただきました。

再来受付機の操作の介助や案内業務や、退院される患者さまの荷物をお持ちしたり、タクシー乗り場まで車イスを押してお見送りをしました。



#### ただいま、病院ボランティアを募集中!

患者さまのために身近なところから

病院ボランティア活動に参加してみませんか?